

## 流山市総合計画後期基本計画策定に伴うタウンミーティング議事録

- 1 開催日時 平成21年9月5日(土)  
午後1時40分から3時45分
- 2 場 所 初石公民館
- 3 出席者  
(1) 市民(27名) 自治会11、NPO等4、その他11、無回答1  
  
(2) 出席職員等  
(特別職) 井崎市長  
石原副市長  
(施策担当部長) 阿曾都市整備部長  
志村土木部長  
吉田市民生活部長  
渡邊学校教育課長  
海老原生涯学習部長  
高市健康福祉部長  
沼沢子ども家庭部長  
池田産業振興部長  
染谷企画財政部長  
(担当課) 水代企画政策課長  
安井企画政策課長補佐
- 4 配布資料  
書類1 後期基本計画(素案)の広報特集号(9月5日号)  
書類2 会場説明資料(スクリーン表示内容)  
書類3 分野別計画事例  
書類 後期基本計画素案に関するアンケート

## 5 意見交換

井崎市長あいさつ、染谷企画財政部長による特徴説明、水代企画政策課長による内容説明の後、安井企画政策課長補佐の進行で意見交換を行った。

(市民)

収入のことで、市民は、税金が上がるのか、少なくなるのか、具体的に伺いたい。

(市)

税金は、今と変わらない。所得が増えれば所得税は増える。

(市民)

税金は上がっている。高齢者が増える中で、市の借金が多い中で、どうなるか。

(市)

財政の見直しを検討する中で10年間の人口推計を行い、生産年齢人口(15歳から64歳)がどのようになるかを推計し、その推計に基づいて財政計画を策定している。

10年間の財政推計を行っているが、市の借金、地方債を増やさないような財政計画としている。借りの額より返す額を多くしているので借金は少なくなるようにしている。歳入の枠内で歳出を計画している。

(市民)

土木部長に伺いたい。江戸川新橋の覚書が締結されて、また高架に戻った。その中で反対の看板の撤去をなぜ覚書に入れなかったのか。高速無料化になったら、橋を利用する人がいるか。

産業振興部長さんに伺いたい。観光協会の育成、助成とあるが、来年から商工会議所に移行するが、観光協会の仕事は商工会議所に移行するのではないか。個々に掲載するのはいかがか。運河の桜まつりは、1日か2日で終わってしまう。早咲きの河津桜を植えたり、遅咲きの八重桜を植えたり、するなどしてはいかがか。

(市)

江戸川新橋については、平成17年に都市計画決定をして、環境調査、県による説明会などを行ってきた。今まで賛成を得られなかったことから、この度反対する住民団体と自治会と、覚書を締結した。道路構造について高架構造にする、環境について、地権者対応について、県の測量に協力する、の4点である。これにより事業の推進が図られると思う。

看板については、事業への協力という項目があるので、県による高架構造の発表があれば、看板も撤去していただけたらと思う。

(市)

観光協会の育成については、来年度、商工会が商工会議所に移行するという事で、観光協会も将来的には商工会議所に移行させていただき、自立していただきたいと考えている。そのためには、収益面でもある程度独立して行える団体になっていただきたい。そういう点を踏まえて後期の基本計画の中に位置づけた。

(市)

早咲き、遅咲きの桜を組み合わせる観光シーズンを長期化してはいかがか、というご意見については、検討していきたい。

(市民)

運河駅や初石駅の東口の開設について、運河駅の計画については、道路の整備で渋滞が起きると思われるので、全体計画を示して欲しい。計画に位置づけている真意を伺いたい。市の税金ですべてを行うのは間違っていると思う。東武鉄道とどのように交渉しているのかを伺いたい。

後期計画について、1ヶ月でパブリックコメントを行ったときに、その結果はどうなるか。

上期、中期、下期としているが、財政を増やすのか、縮小することもあるのか。NPOアンケートで、元気溢れる子どもたちの発散の場として、祭りをおこなってはいかがか、という提案を行ったが、それに対する回答が無い。NPOアンケートの回答をいただきたい

流山市自治基本条例22条2について、市民が主権者であり、市議会は、議論のできる市議会にして欲しい。

NO6、市の財政から、借金をしたときに、何を財源に返していくのか。具体的に示して欲しい。市債がいくらあって、いくら返していくのか。

高速道路の入り口のところにあるトラックの集配センターがどの程度利用されているかわからないが、第2の集配場の計画があるようだが必要あるのか。

(市)

そのほかの意見については、文書で提出をお願いする。

(市)

東武鉄道の運河駅の橋上化について、市の税金でやるということで、東武鉄道の負担がないというご質問です。(東急電鉄や京王電鉄を除いて、)JRも、多くの鉄道会社が、自分のところではやりたくないの、請願駅だから地元でお金をもって欲しい、ということで進められている。市でお金を出さなければ、何も動かないのが現実である。国に他の自治体の長と請願して、事業者にも負担していただけるようお願いした。自由通路で通過する部分については市で負担、駅に入る部分は事業者の負担、ということで決めようとしたが、結局崩れてしまった。今回も、駅舎については東武鉄道が整備するが、そのほかの部分は市で整備することとなった。もうひとつの問題は、東

武鉄道の子会社が工事を行うので、そこから出てきた見積が適切かどうか分からない状態だったが、国の外郭団体でチェックする団体があるので、見積が妥当なのかどうかを検討して、東武と交渉していく。

パブリックコメントについては、返信はしないが、結果についてはホームページに指摘内容、市の考え、対応を公開している。返信をしないということは、パブリックコメント時に明示している。

財政については、右肩上がりでは考えていない。厳しく見ている。

財政の削減努力については、市ではこの6年間、職員を削減してきており、県の中でも人口に対する職員数が少ない自治体となっている。市税に対する人件費の割合が、52～3%であったが、現在では39%になっている。民間企業で言うと労働分配率に相当するが、これを増やさないようにし、減らして、市民サービスに取り組んでいく。

一般競争入札は、1億5千万円以上というルールであったのを、現在は130万円以上は一般競争入札にするということに変えてきた。また、予算編成時には3社以上から見積りを行うなどしてきた。これによって同じ事業でも36～7%減額となった。

その他、担当から文書で回答します。

(市民)

地球温暖化防止について、地球規模で森林がなくなり、陸と海でなくなっている。流山市は、今森がなくなっている。いかに整備しても、前の森の吸収分は戻らないと思う。砂漠に流山の森を作りたい。ボランティアで植林に行きたいが、行けない人がたくさんいると思う。流山でオーナーを募って、現地の人に委託して森を作る。私が関わっている砂漠は、東京都と神奈川県を合わせたくらいの面積で、黄砂の発生源になっているところである。

中学校で、環境問題についての講演の依頼があるが、流山にある学校で、若い層にも認識していただきたいので協力したい。

(市)

砂漠に流山の森を作ることとそれに対する支援を、ということであるが、まず、流山でグリーンチェーンとか、失われた森を回復したい。お借りしている公園、緑地がたくさんあり、もし相続が発生すると返さなければいけなくなる。それを買おうとすると170億円くらい(後日精査:150億円程度)かかる。ですから、流山市としては、NPO活動への支援は行うが、市としては市の緑の保全を優先させていただきたい。

(市)

市内学校にビオトープを整備し、環境に、CO2に対する配慮、小学校では一日どのくらいのCO2を排出しているかを家庭を巻き込んで学んだりしている。今後も学校への協力をお願いしたい。

(市民)

基本計画の後期が始まるということだが、これで終わるのか、その後はどのようになるか。

道路の問題で、平成19年に嘆願書を出したが何の回答も無かったと前任者から聞いている。郵便局前の市道の制限速度が50km、警察の前が40km、これはおかしい。住宅地を通る市道が50kmになっている。

(市)

道路のスピードの規制、信号機の設置は、県警になる。市民から要望があった点については、流山警察署にお願いしている。県の公安委員会が調査をして、それから決定になる。市では要請を出しているが結果が出ていないんだと思う。市から要請しているのに、その結果が出ないと反映されない。再度要請があったことは、伝えていきたい。

(市)

市民からの声に対しては、答えが出てから報告するのではなく、経過を報告することになっているので、具体的に言っていただきたい。報告は、行うようにする。

(市)

後期基本計画は、10年の計画で、一度きりの計画である。この中を、3年、3年、4年に分けて、実施計画を策定する。法律の改正が合った場合、喫緊の事業があった場合は、改定することとなる。

(市民)

柏市民であり、おおたかの森駅を良く利用している。柏市との差別化、おおたかの森で柏と同じものを作っては意味が無いと思う。空き地がまだあると思うが、どう活用していくのか、どう差別化していくか。駅前に子どもを預けてバスで送迎してくれるのは、うれしく感じている。図書館もあるといいと思った。子どもが過ごしやすいまちにして欲しい。

(市)

おおたかの森と柏の葉の差別化について。柏駅周辺は若者のまちで10代、20代の方が多い。おおたかの森駅周辺はその親にアピールできるように、ということで落ち着いた大人のまちを目指そうということで努力してきている。土地利用は、柏の葉キャンパス周辺は県が持っている、三井が買いまくっていくというパターンであるが、おおたかの森駅周辺はほとんどが民地のため、市で絵を描いて誘導していくことが難しい部分はある。個々の積み重ねで面白いまちになっていけば、と思っている。図書館については、大きな新しい図書館は、柏市で柏駅南口に計画されているので、我孫子、柏、流山で、機能分担していければと考えている。少しでも早く流山に引っ越してきて欲しい。

(市民)

都心から一番近い森のまちとか、いろいろキャッチフレーズがあるが、流山は、緑を大切に作るまちづくりが基本だと思う。しかし、他に誇れる人が集まれるテーマパーク、名所などが無い。広報に名所が出ているが、果たして名所といえるか。セントラルパーク駅周辺は、老朽化した運動公園がある程度で、セントラルパークとは思えない。閑散としている。人が来てくれるようなテーマパークをつくるべきではないか。利根運河の開発整備は何回も言われているが、各市が思い思いに進めている。県の宝でもあり、国の文化遺産でもある。8.5km全部を桜並木にするくらいの整備が必要だと思う。

おおたかの森とセントラルパークの間の2.4kmの新しい道路ができる。桜のトンネルにして、毎年そこで市民が楽しめる、そういう計画を立ててもいいのではないか。

(市)

ご提案ということで、検討させていただきたい。

利根運河については、整備の提案だと思うが、3市のエゴでうまくいかないというよりは、国交省の土手の利用に関する規制が様々あることが大きい。

千葉県は税収の85%が人件費なので、千葉県の管理にするのは難しいと思うので、国と市で何とかしていきたいと思う。

(市)

セントラルパークとおおたかの森を結ぶ道路については、道路の工法等を検討して進めていく。大堀川流域に桜並木、四季を通じて楽しめる並木を整備していこうと考えている。都市計画道路の街路樹も大切なことなので、さらに、検討を進めたい。

(市民)

経済誌などでも流山が出るようになった。かなり流山もレベルアップしたと思う。おおたかの森の開発をする中で、森が減っている。オオタカが飛んでいるのだろうか。桜を植えることも大切だが、バランスをどのように考えているか。おおたかの森の周辺の進捗状況、完成状況を広報等で知らせたい。初石の駅前で土地があるが、草が生え、刈るの繰り返し。活用方法を考えてはいいかがか。

江戸川台のアンテナショップでTシャツを購入した。駅から5分かかる。地図は無い、案内はない、という状況。売り上げはどの程度あるのか。単に作ったよ、という状況だ。日比谷、原宿のアンテナショップでは、良く売れている。流山のアンテナショップは、改善の余地があるのではないか。

(市)

セントラルパーク駅前の運動公園の緑、おおたかの森いわゆる市野谷の森、ここにはまだオオタカがいる。近いところに残したのは、先人の努力の成果だと思う。市街

化区域の緑の減少を食い止めることはできない。開発用の土地なので、緑をそのまま残すことはできない。一昨日、NHKでグリーンチェーン戦略や美田自治会の緑のカーテンが紹介されましたが、雑木林をそのまま残すことはできないが、開発のときに緑にどれだけこだわるかで大きく変わってくる。皆さんがそれぞれ努力していただければと思う。

(市)

新市街地地区の事業の進捗率は、3月末で48%、現在は50%を超えていると思う。広報等を通じてお知らせすることについては、広報については地権者にはお知らせしているが、その他の方へは検討したい。

(市)

初石駅東口の用地は、3年ほど空き地で草刈をする状況であったが、今年度から、3丁目地区の下水道工事用の資材置き場、工事用の仮駐車場用地として活用を考えている。

(市)

アンテナショップの運営をお願いしているNPOと相談して改善方策を検討したい。

売れるもののチェックについては、毎月、一品ずつ販売状況を把握している。販売方法についても、改善余地があると思うので協議をしていきたい。集客のためのイベント開催、地元大学生との交流を行うなど、協議、改善していきたい。

(市民)

多くの他の都市に住んできた経験から、都市整備の計画の中で、歩道が少ないと感じる。それから、街灯が少なく暗い。車の量に対する歩道の量が少ない。税金を増やしてでも、整備する必要があると思う。

視聴覚行政が劣っていると思う。動画とかコンピュータとか置いてあって、編集したりできる視聴覚室が、他の自治体にはあった。

高齢者が増えてきている中で、老若協働参画の考え方が少ない。そういう社会を率先して作っていくという考え方がないと思われる。

流山には10景のようなものが無い。この写真を見せれば流山がわかる、というような流山10景を行ってはいかがか。

(市)

街灯、防犯灯の実情は、1万4千灯強設置している。年間60近く通学路等を中心に設置している。また、年間千灯近く、自治会からの新設要望への助成を行っている。都市計画街路の道路照明については、土木部で設置している。

(市)

歩道の整備は遅れている面がある。単独の歩道は難しいので、都市計画道路の整備の中で歩道を整備したい。道路照明についても、要望があれば土木部のほうに要請していただければと思う。

(市)

視聴覚の設備については、検討させていただきたい。

(市)

若者と高齢者の交流が少なく、難しい面があるが、江戸川台高齢者ふれあいの家では、高齢者と小学生の交流が行われている。若者と高齢者については、今後どのようにしていくか、検討していきたい。

(市)

老若の協働の部分は、そういう視点を、施策として取り込むという観点はなかった。年配の方の多いNPOが、成人式の実行委員会の事務局の運営を行うとか、公民館で年配の方の多いNPOが、公民館に子どもたちが泊まり込んで、そこから学校に通うプログラムを行っている。そういう例はあるが、老若という観点は無かったので、検討したい。

10景については、観光にもなる。市民団体が写真を撮って絵葉書にしようという団体もある。運河の風景も、知る人ぞ知る状況。フィルムコミッションでロケが行われているが、おおたかの森が使われていても、市民でも知らないとわからない。

(市民)

優先順位をつけさせていただく、ということで先を見ているなと思った。

人を減らすだけでなく、戦力となる職員を民間からも活用するなどしていただければと思う。

(市)

この分野は、流山市は他の自治体に比べて進んでいると思う。任期付き職員の導入を進めているし、職員の評価もボーナスを、部長、課長に対して、プラスの評価を行っている。低い人には厳しく指導している。

管理職以外には、MVP賞を設けて、3ヶ月間に市民の評価をいただいた人、通常だったらできないことを努力した人、難しい課題を達成した人を表彰する制度を設けた。

節約は、入札や職員の節約だけでなく、今まで行政が負担していたものを、収益を行うようにしたりしている。流山市の花火大会について、手賀沼花火大会は協賛金が減少したことで中止となったが、流山では有料観覧席を設けているので、行うこととした。おおたかの森駅の自由通路でも広告を取って1000万円以上の収入を上げる予定である。来年は、市民便利帳を、広告会社とタイアップして、広告を取りながらの事業としてあるが、予算ゼロ事業で行うこととした。

さらに努力していきたい。

(以上)